

備前市事務事業評価シート

事業の概要		事業開始年度 平成17年度～		根拠法令・例規等	医療法 備前市国民健康保険病院条例
総合計画	大項目 基本目標	02	健康でやさしさあふれるまちづくり	問	担当課(室) 市立日生病院
	中項目 基本施策	02	健やかで生き生きしたまちづくり	合	職・氏名 医事係長・尾崎嘉代
	小項目 施策	07	病院事業	先	電話 0869-72-1111
事務事業名		09	日生病院診療事業	このシート作成に要した時間 5.0 時間	

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	病気の予防及び治療を必要とする人	事業の意図する成果とつながら成果指標を設定
目的(何のために)	安心・安全で良質な医療の提供	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	安心して安全な医療が受けられる環境整備と良質で適正な医療を提供し患者数の増加を図る。	

事業の実績		Do
目的を達成するための実施した事業	右欄の評価の説明	事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価
右欄の評価の説明	右欄の評価の説明	
<妥当性評価> 医師、看護師不足については、就学資金貸付制度を導入し確保に努めている。又、大学病院等への医師派遣の依頼も継続している。 病診連携・病病連携・介護福祉施設等との連携強化も図られて来ているが、さらに、県が実施する、医療情報ネットワークへの来年度からの参加を目指し、準備を進めている。 <効率性評価> 入院患者延べ数については、地域の介護施設等との連携が円滑に行えるようになった事もあり、減少となったが、外来患者延べ数については、理学療法士が4人体制となった事からリハビリ部門の強化により昨年度より増加となった。 コスト削減については、現状分析を行いながらより一層の努力を行っていききたい。 <有効性評価> 医療情報ネットワークへの参加を目指し、より一層地域連携部門の強化を計り、収益増に繋げていきたい。 今後も、現状分析を行いながら、収益増に繋がる事業等の検討を行っていきと共に、安心、安全で良質な医療の提供が行えるよう努める必要がある。		

決算額	事業費等	単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
	直接事業費	千円	616,713	592,483	570,799
	必要人員費	千円	91.56人	504,285	94.67人
	事業費計	千円	1,120,998	1,112,986	1,090,553
	国庫支出金	千円			
受益者負担	千円				
繰入金	千円	94,690	95,517	103,155	
市債	千円				
その他()	千円				
一般財源	千円	1,026,308	1,017,469	987,398	
受益者負担比率	%	-	-	-	

結果指標	結果指標名	単位	平成21年度実績		平成22年度実績		平成23年度実績	
	説明		入院	外来	入院	外来	入院	外来
	結果指標量		27,175	51,414	26,522	49,482	25,427	53,204
	対前年比	%	-	-	97.6	96.2	95.9	107.5
	活動コスト	円	690,332,000	400,967,000	685,718,000	392,049,000	663,986,000	389,569,000
単位当たりコスト		25,403	7,799	25,855	7,923	26,113	7,322	

事業の成果					
成果指標名	年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度目標値
病床利用率(%)	目標値(A)	90.0	90.0	90.0	90.0
	実績値(B)	80.9	78.8	75.7	到達目標値
	達成率(B/A)	89.89%	87.56%	84.11%	毎年度
成果指標設定の考え方・式や説明					
安定した病院経営をするためには、収益の確保と維持が重要である。このため、経営の効率化に経営指標(収支改善、経費削減、収入確保、経営の安定性等)の中から、収入確保に係るものとして病床利用率を成果指標として選択し、目標値を設定。 * 病床利用率(%) = 入院延患者数 ÷ 診療日数(3.6.5日又は3.6.6日) ÷ ベッド数					

事務事業の評価		該当する項目を から へ < 「コピー」して「貼り付け」してください >	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	市が実施するよう法令で義務づけられている 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない 事業の内容が一部の受益者に偏っている 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である 事業開始当初の目的から変化してきている 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い
	市民ニーズ	市民・団体等から要望・要請が強い	A
効率性の評価	コスト	単位当たりコストは前年度と比較して改善している 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい 受益者負担率は適正である 受益者負担率を見直す余地がある サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い
	目的達成度	成果指標の設定は適切である 成果指標の到達目標値は達成できそうである 成果指標達成率は前年度と比較して向上している 成果指標達成率は80%未満となっている 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い
市民参画度			C

進行年度(H24年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止
						廃止・完了
説明	公立病院改革プランに基づき、高齢者の状態に応じた適切なサービスを効率的に行えるよう療養病床の運営強化を推進する。また、特定検診・各種人間ドックなどの検診事業と予防接種・健康教室などの地域保健活動の拡充を図ることにより、地域住民の健康増進に貢献できるよう努める。					

総合評価	
成果指標は目標を下回ったが、経常収支比率101.2%、純利益8,591千円を確保することができた。しかしながら、経営の安定化を推進するためには引き続き事業運営の見直しと検討及び地域住民の医療ニーズへの対応を考慮しながら経営健全化に努めていく必要がある。	総合評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い

平成25年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止
						廃止・完了
取組目標	公立病院改革プランの経営の効率化に係る計画に基づき、経費削減・抑制対策や収入増加・確保対策等取り組み、経営の安定化を推進する。					

が事業の目的やその数値目標に留意しながら